

さっぽろ

市議団ニュース

2014年3月5日

No.96

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

宮川潤議員が水道局に質問

「水道管の耐震化すすめよ」ともとめ、前向き答弁

宮川潤議員は、4日、市議会予算特別委員会で、震災時にも給水が可能になるよう、水道管の耐震化をもとめて質問し、前向きの答弁を引き出しました。

札幌市の水道管 5,882 キロメートルのうち、耐震性の水道管は 1,163 キロメートルです。災害時基幹病院（13カ所）につながる水道管は耐震化が完了。救急告示病院や人工透析を実施している病院の一部にも耐震水道管が使用されています。

宮川議員は、「今後、救急告示病院と透析病院、さらに、小中学校などの避難所への水道管を耐震化すべきではないか。耐震水道管をつないだ病院では、屋外でいいから、近隣住民に水を供給できる蛇口を設置してもらえるようにすべきではないか」ともとめました。

高橋彰配水担当部長は、「対象施設は、残りの救急告示医療機関を優先し、加えて透析病院の他、学校等の収容避難所も組み入れていきたい。耐震化を加速させる。」としながらも、「水道の耐震化をした病院においては、(住民への水提供ではなく)災害時の医療行為が第一義的」と答弁しました。

宮川議員は、「病院では、医療行為最優先が当然。その医療行為の妨害とならない範囲で、水を提供できないのか。提供を検討してほしいという要請だけでもすべきだ」と、さらにもとめると、**高橋部長**は「医療機関と意見交換できる機会に、宮川委員の御指摘を伝えたい」と答えました。

緊急貯水槽の鍵保管場所問題

また、**宮川潤議員**は、緊急貯水槽の管理問題についても質問しました。

震災で断水した際に、飲料水を提供するための緊急貯水槽が札幌市内に 33 カ所あります。地中の貯水槽からつながるパイプは、地上で小屋に格納され、扉に錠がかけられています。

8カ所の貯水槽は、水道局庁舎にあるため、ただちに開錠することができますが、残り 25 カ所の鍵は、市内で 5 カ所の配水管理課で保管していることを明らかにしたうえで、**宮川議員**は、「大災害時に、職員が徒歩で配水管理課に来るまで何時間もかかる。その上、例えば北区新琴似 6 条 2 丁目の配水管理課から、東区東苗穂 14 条 4 丁目の札幌東公園の緊急貯水槽まで行くのは大変だ。特に冬には時間がかかる。鍵の保管を 5 カ所だけでなく、近くの適切な保管場所を検討すべき」と、もとめました。

答弁に立った**高橋彰配水担当部長**は、「鍵の保管場所は、工夫する余地がある。宮川委員の御指摘について、検討したい」と答えました。

宮川議員は、「せっかく緊急貯水槽を整備しても、鍵を開けられなければ何の役にも立たない。震災の断水時には、いつときも早く給水を可能にすべきだ。保管場所を増やすことが不可欠だ」と語っています。